

震災遺構の現状

資料2

平成26年9月18日
宮城県震災復興・企画部
地域復興支援課

市町	対象施設	保存の方針	住民意識の把握	解体		保存方法	復興事業との関わり	活用方法についての検討内容	
				時期	理由				
仙台市	仙台市立荒浜小学校	検討中	検討中	—	—	現地保存	支障なし	震災復興メモリアル等検討委員会で検討中。	
	一部保存								
石巻市	門脇小学校	検討中	市民アンケート実施	—	—	石巻市震災伝承検討委員会の中で検討中	支障なし	門脇小学校については、今後、施設の保存方法、活用・伝承方法について検討委員会で検討することとしている。	
気仙沼市	気仙沼向洋高校	検討中		—	(県教育庁ではH26予算に解体費を計上)		市で検討予定	検討会議の報告を踏まえ、市で検討予定。復興交付金事業第9回申請にて遺構保存調査事業が採択。	
東松島市	かんぼの宿松島及びその付帯施設	検討中	地域協議会の中で住民の意向を確認している	—	—	現地保存	支障なし	民間事業者に貸与し、宿泊施設兼震災メモリアル施設、避難ビル等	復興交付金事業第9回申請にて遺構保存調査事業が採択。
	観光交流施設(震災メモリアル展示を施設内で行う)								
	今後検討(現在NPOが活用)								
	今後検討(現在太陽光パネルの研修に活用)								
山元町	中浜小学校	検討中	住民全世帯対象にアンケート調査実施	—	—	現地保存	支障なし	復興交付金事業第7回申請にて遺構保存調査事業が採択。3月に震災伝承検討委員会を設置し、保存のあり方等について検討している。	
女川町	旧女川交番	保存	住民説明会等で説明	—	—	現地保存 デジタルデータによる記録・保存・活用	造成工事の計画及び工程に支障が少ない	女川交番の保存計画(応急補修含む)と3施設の3Dデータ活用方法について検討中。	
南三陸町	町防災対策庁舎	どちらでもない(解体含む)	していない	県に解体を依頼 →県受託事業から除外	町の方針としては解体を決定したが、県有識者会議の検討対象となったため	—	支障あり(当該地の活用に当たり一定程度の盛り土が必要となるため)	—	